

「熱い心」 ～日本一熱く、絆強き学校への道～



集中の分散！～「集中しないための集中力」の重要性！～

3月になって部活動の大会が盛んになってきた。先週、野球部は新人大会ベスト8以上が集う選手権に出場。好投手相手に粘ったものの判定戦で敗退。ソフトテニス1年生大会では、川野・高司、田中・桑原ペアが熱戦を展開。残念ながら目標のベスト8に一步及ばず。バスケット男子も連戦の中接戦を勝てないことが続いた。試合を見ていると、いくつかの共通点があった。1つは、練習量では絶対負けておらず、その成果が着実にプレーに出ていること。2つ目は、きつい状況に追い込まれたときの弱さ。苦しいとき声が消える。「声は最大の技術」、これは昔トップ選手育成のコーチング講習会で学んだこと。「声は心の切り替えである」「行動はプレーの切り替えである」、このことが理解できてくるとぐんっと強くなるぞ～。そして3つ目は、「観る力」の弱さ。「観る目を強く、見る目は弱く」、例えばふと気づくとボールだけに集中してしまう自分…、状況判断が遅れ、対応が遅れる。「観ることを大切に！」「観る」ことによって自分との関連を素早く的確に判断でき、ひいては相手の心理を読むことができる。重要なことは、集中しないための集中力！集中の分散！かなり難しいことだが、このことが場面や状況に最も適したプレーを瞬時に判断できる選手になる最重要条件だと考えられているんだ。「全てのプレーは観ること、計算することなしに成り立たない」ともいわれている。部活動の最大の目標は、「自分たちが成り得る最高の自分たちになること！」だ。とことん成り得る最高の自分たちを目指していけ！頑張れ！スポーツだけのレベルの高い難しい話に聞こえるだろうが、これは仕事や日常の生活にも共通すること。ぜひ心に刻んでおいて！

ふるさと教育「理科実験授業」！

石灰工業会の皆さんを講師に招いて、2年生を対象に理科実験授業が行われました。フィルムケースロケット実験や石灰たまご作りなどの楽しい体験活動を通して、津久見市が全国に誇る石灰の性質や特徴を学びました。道具の準備から講義・実験指導まで、熱い思いを込めてすべてしてくれた地元石灰工業会の皆さんに感謝です。ふるさと津久見の魅力をもっともっと感じていこう。ふるさととは大切な誇りです。



そして、お礼はもちろん「ふるさと」、感激してくれていました。



「夢のブロック」積み上げてるね～！

第3回英検で、なんと2年高橋香琳さんが準2級に合格。すごいね～。3級には4人、4級には14人、5級には7人が合格。素晴らしい。よく頑張った。そして、図書貸し出し冊数年間NO.1は山崎純生くん。おめでとう。一つ一つが「夢のブロック」だ。我らここに挑む！

準2級	高橋香琳
3級	岡田花奈・工藤優也・石井海斗・川野夏矢

年間図書貸し出し冊数ランキング					
1位	2-1	山崎純正	5位	2-2	後藤啓生
2位	3-2	成松ゆのか	6位	2-1	久門希美
3位	1-3	竹添蓮翔	7位	2-1	稲垣一心
4位	3-3	野中宥七	8位	1-3	羽田野利隆